

第13回政策推進会議報告

日時 10月5日 9時30分～10時35分

場所 4-1会議室

出席者 19人

1 平成25年度予算編成に向けた取組について

企画財政局長から資料に基づき説明。(以下、質疑等)

- ・新規政策と改革改善項目で一定調整されていると思うが、この公表資料は各局からの要求段階のものと理解していいか。

そのとおりである。

- ・今後新規政策として新年度予算提案となるまでに査定されると思うが、不採択となった事業は、その考え方と合わせて公表するべきと考えるがどうか。

(市長)これから市長として予算編成権限のもとで各局と協議し、査定することになるが、政治判断など一定の考え方で調整する事業もあると思う。その結果についてはどういった協議の経過であったのかは、公表するべきであると考えている。今回の公表資料である要求段階の新規政策、次期行財政計画の総論、事業たな卸し結果であるが、これらはセットで公表するのか。

各課にまたがる内容であるが、ホームページにおいて一体的となるよう工夫する。

- ・来年度以降もこの次期に公表するのか。

もともと8月の予定であったので、来年は間に合うように取りまとめる。

- ・各局においても8月に公表できるように新規政策の要求を出さなければならない。協力するようお願いする。

(市長)これから約12億円もの新規政策の査定を行うことになるが、政策推進方針を基本に臨むこととする。ただ、来年度、総合計画と行財政計画の1年目となるに当たって、新規政策については政策推進方針に基づいて提案されているものの、現在行われている事業の再構築は意識が薄いように感じられる。まず、今の取組を見直し、財源を生み出す中で新規政策が提案されているかということをベースに査定しようと考えている。

2 次期行財政改革に係る計画について

企画財政局長から資料に基づき説明。(以下、質疑等)

(市長)本件は、本日午後開催される総合計画等特別委員会で報告するが、その場で意見をもらい、最終的にはどのように発表するのか。

本日午後の総合計画等特別委員会で報告し、12月にパブリックコメントとして意見聴取し、最終的には予算案と一緒に議会で提案することになる。

3 平成25年度予算編成方針について

企画財政局長から資料に基づき説明。(以下、質疑等)

- ・経常経費の見直しについて先行して実施したと思うが、その結果はどうか。

まだ調整している局はあるが、一般財源の削減目標額である1億1,000万円に対して、概ね達成できている状況である。ただ、余分に出している局や不足している局もあるので、微調整しようと考えている。

- ・各局から共通しているような問題はないか。
そのようなことはない。

4 屋外広告物許可基準の改正に係る「基本情報」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

都市整備局長から資料に基づき説明。(以下、質疑等)

(市長)都市美の取組は過去からがんばっており、今後各業界との協議となると思うが、期待しているのでしっかり取り組んでもらいたい。

5 その他

・都市整備局長から、気仙沼市における「花のまちあまがさきチューリップ運動」の取り組みに関して報告。(以下質疑等)

・事業概要のところ、気仙沼市民の心を和ませるという表現を、心寄り添うといった、本市の気持ちが気仙沼市民のそばにあるような表現にしてはどうか。

そのようにする。

(市長)これは、花のまちあまがさきチューリップ運動会議が事業主体で、市民が中心となって展開されているが、ぜひ庁舎内にもポスターを貼るなどキャンペーンを行い、職員や来庁者にも協力してもらいえるよう取り組んでもらいたい。また、現金取扱いで課題があるが、庁舎内に募金箱が設置できるようにしてもらいたい。

・市民協働局長から、10月7日の市民まつりに関して報告。
・資産統括局長から入湯税に関する事件に関して報告。(以下質疑等)

・ご承知のとおり入湯税に関する過日の報道において、ご心配やご迷惑を掛けていることについてお詫びする。マスコミ報道で明らかになっており、平成12年10月から入湯税を徴収することになったが、ある事業者において過少申告の通報があり、現在調査しているところである。平成12年度において、事業者と市職員が課税に関する話し合いを行っていることが分かり、職員に聞き取り調査を行うなど、事実が明らかになってきたところであり、10月末を目途に取りまとめ、報告する予定である。

(市長)発覚後の対応など、市民はよく見ている。きちんと調査し、市民の信頼を回復するよう努めてもらいたい。

・卸売市場の事件からしばらく月日が経過しているので、公務員倫理について、全職員に今一度見直すよう再度徹底してもらいたい。

・今朝の新聞において、市議が関与するような報道があったが、情報管理についてもきちんと努めてもらいたい。

今朝の報道は、新聞記者が個別に職員に当たっていたものと思われる。

・新聞記者が個人に当たっており、その情報を管理することは困難であるが、今回の記事は市議が関与したように思われ、書かれ方は良くないと思う。情報管理についてどのよ

うに対応するのか、難しいことであるがきちんと対応するべきである。

現段階ではなんとも言いがたい。

(市長) 調査をスピーディーに行い、速やかに報告するべきである。新聞等が先行するとどうしても受身になってしまう。10月末には調査結果をまとめ、議会等に説明できるよう対応をすべきである。

・顧問から市のホームページ及び市報の取扱いなどに関して報告。(以下質疑等)

・一点目としては、成良中学校がコカ・コーラ環境教育賞大賞を受賞し、本日プレス発表するが、このように何か表彰されるようなことがあれば、地域に元気を与えることになるので、積極的にシティプロモーション部に伝えてもらいたい。二点目としては、本市に招かれて半年が経過して感じたこととして、市からの情報発信の手法として、市報に偏りすぎているように感じる。市報の編集スケジュールに則り、情報発信するようコントロールされすぎているので、ホームページのあり方、しくみを考える必要があるのではないか。市報の編集会議に参加しているが、年間の表紙をどうするのか、また、記事についても掲載時期が過去からの経緯により、決まっている部分が多くなっているように感じる。そのため情報を掲載しきれない月も出ているが、毎年掲載しているからお願いしたいというようなこともあり、記事の調整が必要となっている。そのため市報やホームページを含めて、その編集方法やルーティン化している部分を見直したいと考えているので、具体案があれば相談してもらいたい。

(市長) ホームページを見直すこととなれば、シティプロモーション部と情報政策課が関与することとなるのか。

ホームページが見にくいという意見は多数聞いており、インデックスとしての作り方とまちの魅力発信といった内容の異なる部分をどうするかといった問題もある。また、総務省からウェブアクセシビリティ方針があり、2015年3月末までにA等級に準拠することを目標とされており、市報やホームページの担当課は異なっても一体管理する必要があるのではないかと考えている。日本一おもしろいホームページを目標にすると、内容が精査されると思うので、見やすく読みやすいものにしなければならぬし、それと連動した市報にしたいとも思うところがある。今の若い人はインターネットでの情報収集が主になっており、ホームページを中心に注目度が高い話題を提供し、おもしろいと思ってもらえるものを作るべきである。

(市長) あまかんや住まいに関する情報は、市のホームページとは異なる外部リンクとなっているし、情報発信について方針を共有するべきであると思うので、一度企画財政局で検討してもらいたい。

以 上